'09. 1
毎月１回20日発行　定価　１部60円
発行所　兵庫県商工会連合会
発行人　会長　木南岩男
神戸市中央区花隈町6の19
☎078(371)1261㈹〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人　岡田奈良夫
印刷所　大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります
第　617　号

# 兵庫県商工連会報

（題字は井戸知事）

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

ヒョウタンを使った丑の置物（提供：浜坂ひょうたん民芸館　人物：谷元卯之助氏）　写真説明８Ｐ

## Contents

■年頭あいさつ　2～3頁
■県連合会Letter　4～5頁
・第四十八回商工会全国大会
・地域力連携拠点事業連絡会議
・商工会金融担当者研修会
■商工会Letter　6～7頁
・くらしの便利帳「おにおんブック」作成（南あわじ市）
・冬の夜空を彩る　ペットボトルツリー（但東町）
・「稲美うまいもんガイド　vol.2 08~09 冬の巻」完成（稲美町）
・物産フェアを開催（吉川町）
■特集　8頁
・地域力連携拠点支援事業（新連携）

謹賀新年

会長　木南岩男
副会長　小田脩造　志智宣夫　畑一弥
専務理事　岡田奈良夫
理事　香山繁　藤井悦治　藤原富三郎　今後敏一　山本道雄　行幸子
監事　大西壮司　出口弘義　門田善二　辻口悦司　山名勝英　春村和光　森本康充　上匡俊　大西健一　大橋直人　井上博文

# 新年のあいさつ

兵庫県商工会連合会　会長

## 木南岩男

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかな新春を迎えられたこととお慶び申しあげます。

一年の経つのは早いもので、己丑年を迎えました。しかし、昨年来より大きく叫ばれている百年に一度という金融危機は、我々中小企業の経営を圧迫し、社会全体でも更なる景気縮小が続いています。政府の緊急施策等を十分に活用し、全力を挙げてこれらの問題に取り組んでいかねばなりません。

十年ひと昔は夢のまた夢、一年ごとの社会の変貌は激しく、総理大臣の交代により根底から覆る有様です。このような時代の変化の中、県連合会におきましても、「都市に負けない地域の再生を目指して」をスローガンに、地域力連携拠点事業等、地域経済の活性化に向け積極的に活動を行っております。また、商工会職員の県連帰属化、人件費補助金の一括交付、人事評価システムの確立等、早急に対処していく必要があります。

ＮＨＫの特集番組で放映された中小零細企業の窮乏ぶりが反響を呼び、昨年十月末、政府も中小企業の資金繰り支援に係る保証制度を強化しました。それを受け、県連合会も逸早く、県下四十一商工会と一致協力し、この制度に関する相談窓口を設置するとともに、各市町長・信用保証協会・金融機関に対し、支援要請をしております。

昨年は、各地域の活性化への取組みをはじめ、いかに商工会合併によるサービス低下を防ぎ、会員の減少を食い止めるか等、諸問題に対して努力をお願いいたしました。本年度は、さらに世界規模の景気後退が予想されます。中小企業の生き残りを賭け、我々商工会はより一層経営支援に注力していかねばなりません。それぞれの地域に元気をもたらすことが雇用の拡大につながり、ひいては地域活力の増進につながると信じています。

ご存じのとおり、県の財政事情も税収の減少が必至となるなど、当然のごとく次年度以降も行財政改革に向けての取組が必然となっております。そこで、県連合会としては、「商工会部会」の活動などとも連携し、支援要望を図っているところであります。

最後になりましたが、県下各商工会の益々の発展と、皆様のご健勝、ご活躍を衷心より祈念申しあげ、実りある年となりますよう心よりお祈り申しあげます。

感謝!!

# 新時代を拓く兵庫をめざす

兵庫県知事

## 井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。

百年に一度ともいわれる経済危機のなか、世界は米国一極体制から多極体制への模索を始めました。

国内では、分権改革の進展とともに、新たな自治の時代の幕を開けねばなりません。

内外で新しい秩序を求めて動き始めている今年は、まさしく地方の力でわが国の仕組みを変える好機ではないでしょうか。

この大転換期こそ、新時代の構図をしっかりと描き、その実現を図るために全力を尽くす時期です。

まず、県民生活の安定のため、足下の景気回復を最優先に、実効ある経済雇用対策を推進します。

第二に、新しい行革プランのもと、行財政構造改革を軌道に乗せ、未来への基盤を確立します。

第三に、少子高齢偏在の人口減少社会の課題に対処するため、元気、生活、交流、家族と地域の４つの視点を大切に、県民の皆さんと新しい兵庫をめざすビジョンを再構築します。

第四に、地域資源や環境、多彩な風土などを生かし、未来の姿を見据え、着実に一歩一歩、元気で安全安心な兵庫をつくります。

大震災からの創造的復興を成し遂げた兵庫だけに、現下の厳しい時代こそ明日を切り拓く基礎固め、力を蓄える時期としてとらえて、兵庫の力で新時代に取り組んでいきましょう。

今こそ、参画と協働の原点を踏まえ、みんなの力を結集して、県民だれもが生活の豊かさと生きがいを実感できる新しい兵庫づくりをめざしましょう。

新時代　拓く希望は
人々の　めざす決意に
地域力つくる

# 年頭にあたって

全国商工会連合会　会長　清家　孝

新年明けましておめでとうございます。平成二十一年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

我国経済は、昨年前半の原油・原材料の急激な高騰に加え、米国発の世界的な金融不安による株価の下落、円高の進行等、景気の停滞感が増しております。

一方、地域の中小企業の経営環境は、今般の金融危機の影響により、消費の鈍化に加え、金融機関の貸出し姿勢も厳しくなるなど、高齢化・過疎化、商店街の衰退といった問題と相まって、益々厳しくなっております。

商工会地区の小規模事業者の景気動向についても、昨年夏以降、業況判断が、全国連の調査開始以来の最低水準で推移し、さらに悪化する傾向にあります。

このようななか、全国連では、昨年十一月二十七日に第四十八回商工会全国大会を「金融・経済安定、中小企業危機突破決起大会」として開催し、政府・与党等に、先に取りまとめた追加経済対策「生活対策」の早急な実施と、中小企業の資金繰り円滑化や景気浮揚策の実現を要望するとともに、私たち中小企業が一致団結して、現在の緊急事態ともいえる経済状況を乗り切る決意を確認しあったところです。

地域の経済や雇用、暮らしを支える中小、小規模企業が、百年に一度といわれる金融の混乱、経済の枠組み変化に直面しようという今こそ、商工会は組織の総力を結集して中小、小規模企業支援に取組み、各地域の、ひいては日本全体の経済社会に希望と活気を取り戻すべく、貢献していかねばなりません。

そのためにも、商工会は、巡回指導を通じたきめ細かい経営支援の強化、ネットｄｅ記帳など中小企業の生産性向上支援、職員の資質向上、農商工連携を通じた産業振興などに積極的に取り組んでいく必要があります。

今年も、全国連は、こうした活動を先頭に立って推進し、商工会が地域において益々頼りにされる存在となるよう、全力を傾注してまいりますので、皆様の一層支援とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

# 新年ごあいさつ

兵庫県　産業労働部長　中村　稔

謹んで新年のお慶びを申しあげます。

平素は、本県の産業労働行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申しあげます。

世界的な金融危機の深刻化や株式・為替市場の大幅な変動など、世界経済が一段と減速するなかで、マクロベースで見た本県の経済情勢も厳しさを増しています。その一方で、大企業、中小企業を問わず、優れた技術やブランド力等により発展を続けている分野や企業もあり、マクロベースの統計数字や平均値を見ているだけでは兵庫県や日本の経済の実力を過小評価し自ら経済の縮小を招くことにもなりかねません。したがって、引き続き、マクロ、ミクロの両面で経済実態を注意深く把握し、施策に反映していくことが必要であると認識しています。

本県としましては、経営環境が厳しい中小企業等に対して、経営や金融、下請取引等の特別相談窓口の設置や金融支援の強化などの緊急的な経済対策を実施してまいりました。また、県内企業へ正社員雇用の一層の拡大や新規求人の拡大を要請しているところです。引き続き、急激な情勢変化にも的確に対応しながら、県民生活の安定の確保に努めてまいります。

一方で、兵庫経済のさらなる飛躍のため、兵庫の強みであるものづくり産業をはじめとする多様で重層的な産業構造の潜在力が発揮され、生産・雇用・所得・消費の好循環につながることにより兵庫経済の中長期的発展基盤が形成されるよう努めてまいります。

本県経済の基盤である中小企業等の経営安定・成長に向けて、地域金融機関等と連携した各種融資制度による円滑な資金供給や、二十六の支援機関と三十一の連携団体からなる「中小企業支援ネットひょうご」によるワンストップでの集中的支援を行います。また、地域の魅力創出や地域ぐるみの経済活性化のため、戦略的な商店街の活性化支援や地場産業のブランド化支援等に取り組みます。

また、次世代を担う成長産業の育成を図るため、Ｓｐｒｉｎｇ－８や次世代スーパーコンピュータなどの世界最先端の科学技術基盤の集積を活かし、県内企業による産業利用を促進するとともに、新産業・新技術創出のため、企業ニーズを踏まえ資金面も含めた効果的な支援を実施します。また、引き続き好調が続く企業立地については、地域特性に応じた県下全域への企業誘致に取り組みます。

さらに、交流の拡大による地域活性化を図るため、四月から六月にかけて本県の多彩な魅力を全国に発信し観光客をお迎えする「あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン」を展開し、観光ツーリズムの振興に取り組みます。また、留学生や外国人県民の活躍の場を提供するなど多文化共生社会の実現を目指すとともに、これまで交流を進めてきた東アジア、欧米諸国のみならず、発展著しいロシアや中東の国々とも戦略的な関係を構築するなど国際交流・経済交流の拡大を図ってまいります。

このほか、多様で安定した雇用就業の実現のため、正規雇用の拡充や但馬・丹波・淡路地域でのふるさと人材確保ネットワークの強化、障害者雇用の促進等に取り組むとともに、仕事と生活のバランスがとれた地域社会の実現を目指します。また、卓越した技能を有する技能士が日本一の技を競う「全国技能グランプリ・兵庫」を三月に神戸市を中心に開催するなど、技能向上やものづくり技術・技能の継承を図ってまいります。

今後も、皆様のご理解とご協力のもと、〝ものづくり兵庫〟〝先進兵庫〟〝働きがい兵庫〟の実現に向けて、兵庫経済のさらなる飛躍を目指してまいります。

最後になりましたが、今年一年が皆様にとって充実した素晴らしい年となりますことを心よりお祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 第四十八回 商工会全国大会開催

十一月二十七日、東京・ＮＨＫホールにおいて、第四十八回商工会全国大会が開催され、兵庫県から七十名が出席した。

大会では、地域経済の基盤である中小・小規模企業に活力を持たせるべく、着実な小規模企業対策の推進及び地域コミュニティ保全の観点から、商工会組織の維持・拡充を図ることを決議した。なお、「経営改善普及事業に関する功労者等の表彰」では、本県から七団体、個人五十二名が受賞した。

## ―大会決議―

一．実効性のある経済対策の早期実施
二．小規模企業支援充実のための商工会の機能強化
三．小規模企業に対する国・地方自治体の支援の拡充
四．地域産業を支える中小企業への支援強化
五．中小企業金融政策の充実・活力向上のための税制措置
六．地域格差是正に向けたまちづくりの推進
七．会員サービス強化の観点からの商工会組織体制の強化

## ■中小企業庁長官表彰（六）

一．優良商工会
篠山市商工会
二．優良青年部
和田山町商工会青年部
三．優良女性部
川西市商工会女性部
四．女性部功労者
福田　由利子（猪名川町）
五．優良常勤職員（二）
原田　豊彦（篠山市）
髙野　さち（淡路市）

## ■全国商工会連合会会長表彰（五十四）

一．優良商工会
南あわじ市商工会
二．優良青年部（二）
川西市商工会青年部
吉川町商工会青年部
三．優良女性部（二）
竹野町商工会女性部
朝来町商工会女性部
四．役員功労者（四十三）
内場　亘郷（芦屋市）
藤田　芳子（芦屋市）
西本　昭雄（芦屋市）
宮本　清範（川西市）
高山　俊明（中町）
三村　秀策（中町）
赤土　達雄（播磨町）
芦田　明（夢前町）
助永　昇（夢前町）
田畑　潤一郎（夢前町）
吉井　啓二（夢前町）
難波　忠一（神河町）
不死原　喜郎（神河町）
清瀬　力（香寺町）
土山　享司（香寺町）
壺阪　豊之（香寺町）
播戸　充（香寺町）
木津　真人（たつの市）
木村　剛（たつの市）
山本　修三（たつの市）
山本　泰八（たつの市）
東　久夫（太子町）
武本　勝博（太子町）
松浦　秀樹（太子町）
三輪　文典（太子町）
大崎　基弘（上郡町）
小谷　豊（上郡町）
井口　進（佐用町）
井原　勝美（佐用町）
上野　和昭（佐用町）
紙上　美枝子（佐用町）
藤元　節夫（佐用町）
岩井　美晴（竹野町）
岡嵜　國男（竹野町）
與田　久治（竹野町）
中島　積（山東町）
足立　義則（篠山市）
圓増　亮介（篠山市）
北本　健一郎（篠山市）
上原　正弘（南あわじ市）
中尾　滋（南あわじ市）
平川　隆一（南あわじ市）
前川　栄次（南あわじ市）
五．女性部功労者（二）
難波　百合子（夢前町）
渋谷　照子（出石町）
六．優良常勤役職員（四）
田中　弘（養父市）
山添　伸子（淡路市）
鈴木　英行（南あわじ市）
吉田　元紀（県連合会）

〈以上、敬称略〉

住友生命
貯めて、使える。
保険を超える保険
LIVE ONE
スミセイ総合生活口座 | ライブ ワン

安全・確実な1年貯蓄
ワリショー
半年複利の5年貯蓄
リッショーワイド
商工中金
神戸支店
〒650-0032　神戸市中央区伊藤町111
☎078(391)7541
姫路支店
〒670-0015　姫路市総社本町111
☎0792(23)8431
尼崎支店
〒660-0082　尼崎市東難波町5-19-8
☎06(6481)7501

# 二〇年度下半期の効果的な推進などを協議

## ～地域力連携拠点事業連絡会議～

▲事業推進に関する説明を行う穴田統括応援コーディネーター

県連合会は、十一月十日、県商工会館において「第三回地域力連携拠点事業連絡会議」を開催。県下商工会の応援コーディネーターや事務担当者等一九名が参加した。

冒頭、県連合会・岡田専務理事より「拠点事業を的確に進めて成果をあげることが地域の活性化に不可欠であり、その結果が商工会の存続につながる。」との挨拶があった。

連絡会議では、穴田統括応援コーディネーターを座長に「事業の上半期実績」や「下半期の事業推進」について説明があった。その後、相談案件に対するスピーディーな対応や、各商工会に対する拠点事業の啓発の徹底について意見交換が行われた。

また、オブザーバー参加の中小機構近畿支部・風谷チーフコーディネーターからは、今後の事業推進においては、相談者の支援満足度を高め、リピーターを増やす工夫が必要とのアドバイスがあった。

# 中小企業資金繰り支援に万全を期す

## ～商工会金融担当者研修会～

県連合会は、十一月二十日神戸市・ホテル北野プラザ・六甲荘において、金融担当者研修会を開催した。これは、十月三十一日にスタートした緊急保証制度に関する理解と、商工会員からの相談への円滑な対応を目的に開催。当日は各商工会金融担当者三十五名が参加した。

まず、中小企業診断士・東川仁氏の「借りられるお金をこう増やせ。押さえるべき金融機関とのつきあい方指南講座」では金融検査マニュアル等の説明があった。

続いて、日本政策金融公庫神戸支店より「セーフティネット貸付の概要」、県経営振興課より「兵庫県中小企業融資制度の概要」の説明がそれぞれ行われた。

「緊急保証制度」については、兵庫県信用保証協会より詳細な説明があった。この制度は、セーフティネット五号認定の指定業種が従来の一八五業種から六一八業種に拡大されたことや、保証割合が責任共有制度の対象外となることから一〇〇％保証され、利用しやすくなったことなど、今後の会員支援体制に大いに役立つものとなっている。

金融不安や景気後退の影響を受けやすい中小・小規模企業への十分な資金繰り対策として、同施策は会員企業への効果が大いに期待されるものであり、商工会の窓口相談体制の強化が急がれる。

## 平成21年度兵庫県商工会等職員統一採用候補者試験のご案内

1．内　容　中小企業に対する経営相談・指導の業務
2．勤務地　兵庫県内の商工会または兵庫県商工会連合会
3．資　格　高等学校卒業以上で30歳以下
（職務経験不問。長期勤続によるキャリア形成を図る観点から）
4．日　程
(1)一次試験　平成21年１月30日㈮
午前：筆記（教養・論文）／午後：面接（集団）
会場＝ラッセホール
神戸市中央区中山手通４－10－８
(2)二次試験　平成21年２月17日㈫　面接（個人）
会場＝（神戸市内を予定）
(3)採用年月日　平成21年３月１日以降
5．待　遇　商工会等の給与規程に基づく
6．受験申込方法
(1)受付期間　**平成20年12月17日㈬～平成21年１月20日㈫**
**《消印有効》**
(2)申込方法　詳しくは、募集要項をお送りいたしますので、返信用封筒（長形３号）に80円切手を貼ってお申し込みください。本会ホームページからでもご覧いただけます。
(3)申込先・問合せ
兵庫県商工会連合会　事業部指導課　宛
〒650-0013　神戸市中央区花隈町６－１９
電話：078-371-1361（指導課直通）
078-371-1261（代表）
URL：http://www.shokoren.or.jp
E-mail:hyogo-shidouka@shokoren.or.jp

## 主な行事予定

### １月のこよみ

13日㈫　第５回商工会職員県連帰属化問題検討委員会
23日㈮　商工会記帳専門研修会（福崎町）
30日㈮　平成21年度兵庫県商工会等職員統一採用候補者試験

## 市民目線のくらしの便利帳「おにおんぶっく」作成
### ～南あわじ市青年部～

南あわじ市商工会青年部（児島正浩部長）は、市内のライフラインや医療等、行政サービス関連情報をまとめた「くらしの便利帳　おにおんぶっく」を製作した。

同市では、行政自身が財政難のため、そのサービスの情報提供がなかなか徹底し得ない状況にあり、青年部ではそれを大きな問題と考えていた。

そして「市民は、行政がどんなサービスを提供しているか知らねばならない。市民が関心を持つことで、行政もより市民目線でサービスを提供できる」という思いを行政に説明したところ、便利帳発刊に対する協力の快諾を得、作成に向かって踏み出すこととなった。

発刊に係る費用は、行政サービスに関連する事業所による広告収入で賄われている。市民目線でわかりやすい情報を発信するため、行政との校正会議を重ねた。また、行政サービスだけでなく、有名観光情報誌には載っていない地元の観光情報、医療機関マップの紹介、広告掲載事業所のクーポンなど、工夫を凝らした。

これらの努力の甲斐あって、瞬く間に広告募集枠は埋まり、有益な情報が詰まった便利帳が完成した。

同青年部はこのように考える。

「近年、行政は財政難からサービスをカットせざるをえない状況にある。今こそ青年部が、商いの発想を取り入れながら行政と協力してサービスを維持するとともに、市民目線での新たなサービスを模索すべき時ではないか。市民、行政から必要とされる青年部であるために」

## 冬の夜空を彩るペットボトルツリーと花火に歓声
### ～但東町青年部～

但東町商工会青年部（兼井亘部長）は十一月二十二日、「二〇〇八・但東冬の光フェスタ」を開催した。

冬の但東を明るくしようと四年前から始まったこの事業は、各家庭から回収したペットボトルでツリーを作成したもので、今年は約五千本を回収、高さ八メートルのツリーが設置された。

点灯イベントには千五百人が来場、カウントダウンでツリーが一斉に光りを放った。同時に、但東町では三十年ぶりとなる花火が夜空を彩り、人々の笑顔と歓声を誘った。ツリーの設置期間は一月三十一日まで。点灯時間は十七時～二十四時。

▲花火とツリーの幻想的な輝き（提供：豊岡市役所）

## 女性創業応援セミナー
### ～なりたい自分になるために今できること～

事業をおこすためにはどうすればよいのか、起こした事業を成功させるためには何が必要か、疑問や不安は尽きないものです。

このような悩みを少しでも解消し、事業を軌道に乗せるためのセミナーです。

あなたの夢を実現させるために、当セミナーをぜひご活用ください。

日　時：平成21年１月17日（土）　13:00 ～ 17:00
場　所：ミント神戸　13F 会議室（神戸市中央区雲井通）
対象者：創業前、または創業後３年度以内の女性
内　容：テーマ①
「金融機関から見たビジネスプラン策定の留意点」
テーマ②
「ビジネスプランを確実に実行するためのポイント」
定　員：先着25名（参加費無料）
主　催：日本政策金融公庫国民生活事業
神戸支店・神戸東支店・明石支店
神戸商工会議所（地域力連携拠点）、
明石商工会議所、三木商工会議所、
小野商工会議所、
兵庫県商工会連合会（地域力連携拠点）
中小企業診断協会兵庫支部

問い合わせ先：日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業
TEL078－341－5135（担当：屋敷、門野）

あなたの“信用”が
さらにアップ
兵庫県信用保証協会
神戸市中央区浪花町62番地の１
☎ 078(393)3900（代表）

# 祝　秋の褒章

平成20年度の秋の褒章受章者が11月３日付で発表され、県内からは47人と１団体が選ばれた。商工会関係者では、谷綛忍孝氏（神河町商工会会長）、舩岡正夫氏（川西市商工会会長）が、黄綬褒章を受章。褒章受章伝達式および拝謁は、11月18日に東京プリンスホテルと皇居にて行われた。

たにかせ　じんこう
谷綛 忍孝 氏

ふなおか　まさお
舩岡 正夫 氏

# お買い物は町内のうまいもん屋さんで！
## ～稲美町商工会～

稲美町商工会（大西壯司会長）では、地域活力増進事業「会員事業所取引拡大事業」の一つとして「稲美うまいもんガイドVol２08～09冬の巻」を発行した。

道路交通法の改正による、町内飲食店の落ち込みに歯止めをかけるべく、忘・新年会シーズンに合わせ、「うまいもん」自慢の飲食店と、お客様の安全、安心のためのタクシー、運転代行事業所を掲載した昨年に引き続き、発行は今年で二回目。

今回は、自慢の「うまいもん」を販売するお店十七店を掲載。忘・新年会はもちろん、お節料理、ケーキ、ジェラート、和菓子、自家製パンなど、年末年始に向けて、なくてはならない自慢の逸品を紹介している。

今回は更に、掲載店五店舗の利用客先着百名に、「稲美町共通商品券」五百円券を進呈する「スタンプラリー」を実施し、掲載店の売り上げアップを図る。

また、本ガイドの他にも、建設業者や専門サービス業者を紹介する「住まいの便利帳」の発行を予定。水道トラブル時の対処など、日常生活の様々な場面で必要な情報を盛り込む。

「お買い物は町内で！」と聞きなれた言葉だが、このご時世だからこそ、稲美町商工会では、今一度この言葉の実践に取り組んでいる。

▲いなみの素敵なお店情報満載!

# 吉川地域の産品・内外にアピール
## ～吉川町商工会～

吉川町商工会（奥川正之会長）では、十一月九日、「山田錦の郷」において「商工会物産フェアー」を開催した。（商工会館での産品展示は八、九日の二日間実施）

このフェアーは、例年吉川町公民館の文化祭に合わせて開催しており、吉川地域の産品と会員事業所を町内外にＰＲすることを目的としている。

当日は時折小雨がぱらつく肌寒い天候となったが、会員事業所の出張店舗にはお目当ての商品を求め多くの来場者が訪れた。

同町青年部・女性部も会場に出店、栗赤飯などの販売と綿菓子無料サービスを行い、昼過ぎには完売する人気であった。

イベントコーナーの「餅つき大会」では、きなこ餅が振舞われ、つき上がりを待つ行列が出来たほか、「ポケットピエロショー」には親子連れや子供達が集まり、愉快なピエロのパフォーマンスに観客からは大きな歓声を上がっていた。

また、お買い物スタンプラリーのガラガラ抽選には、豪華賞品を目指し多数の参加があった。

あいにくの天候であったが、盛況のうちにフェアーは終了した。

▲餅つき大会は大盛り上がり


－中小企業と共に50年－
商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする
県共済
兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合
神戸市中央区中山手通７丁目28番33号（県立産業会館内）
☎ 078-361-8080(代)　Fax 078-371-6757
ホームページ　www.Ken-Kyosai.or.jp

特集・地域力連携拠点事業

# 「新連携」の経緯と要件について

中小企業新事業活動促進法で新たに支援する「新連携」とは、異なる分野で事業を行っている複数の中小企業が、各企業が持つ様々な強みを持ち寄ってゆるやかなネットワークを形成し、あたかも一つの事業体のように振る舞って、単独企業ではなし得なかった高付加価値の商品・サービスの提供を行う事業形態を指している。

このような中小企業における連携が必要とされる背景については次のような経済環境の変化が挙げられる。

昨今のグローバリゼーションの進展等による競争環境の激化に伴い、ビジネスを巡る時間軸は加速度的に短縮化している。

中国を始めとするアジア諸国もより高度な技術・技能を必要とする産業分野での競争力を高めつつある。

この様な経済環境の変化により、中小企業は、消費者のニーズを捉えた高付加価値・高機能製品やサービスを迅速に開発・提供する能力が従来以上に強く求められるようになった。しかしながら、経営資源の不足する中小企業においては、特定分野に卓越した技術などを有するものの、一社で全てに対応することは困難なため、優れたノウハウや技術などの特色をもつ他の事業者等と連携を形成する動きが活発化している。

| | ①連携体の特徴　②事業の特徴 |
|---|---|
| 安全安心の「霜降り豚肉」などの製造管理システム開発とエコフィード循環事業及びFC事業<br>【株式会社】バイオマス・グリーン<br>（兵庫県加古郡） | ①乾燥飼料製造技術を有し事業統括、FC展開を行うコア企業とプラント設備の開発・製造を行う企業体との連携　②食品スーパー、メーカーなどが排出する食品バイオマスを原料として養豚向けの飼料を製造し、販売する。さらに、それにより肥育生産された豚肉を食品スーパーの店頭で販売する循環型のプロセスを管理することで、安全安心の豚肉販売事業をサポートしていく。 |
| 有害付着生物の繁殖予測用の「付着生物幼生センサー」生産、販売及び対策コンサルティング<br>【株式会社】セシルリサーチ<br>（兵庫県姫路市） | ①センサーキットの生産、販売、改良を行うコア企業と部材・試薬・実験器具類等の供給を行う企業との連携。　②臨界発電所などにおいては海洋付着生物による被害を受け、被害予防にも専門性と時間を要するなどの課題を抱えている。本事業はイムノクロマト法による海洋付着生物幼生センサーの事業化と対策コンサルティングの事業を行う。 |

新連携の取り組みにおいては、次のようなポイントが挙げられる。

①異分野の中小企業等が連携して異なる経営資源を有効に組み合わせて活用すること。

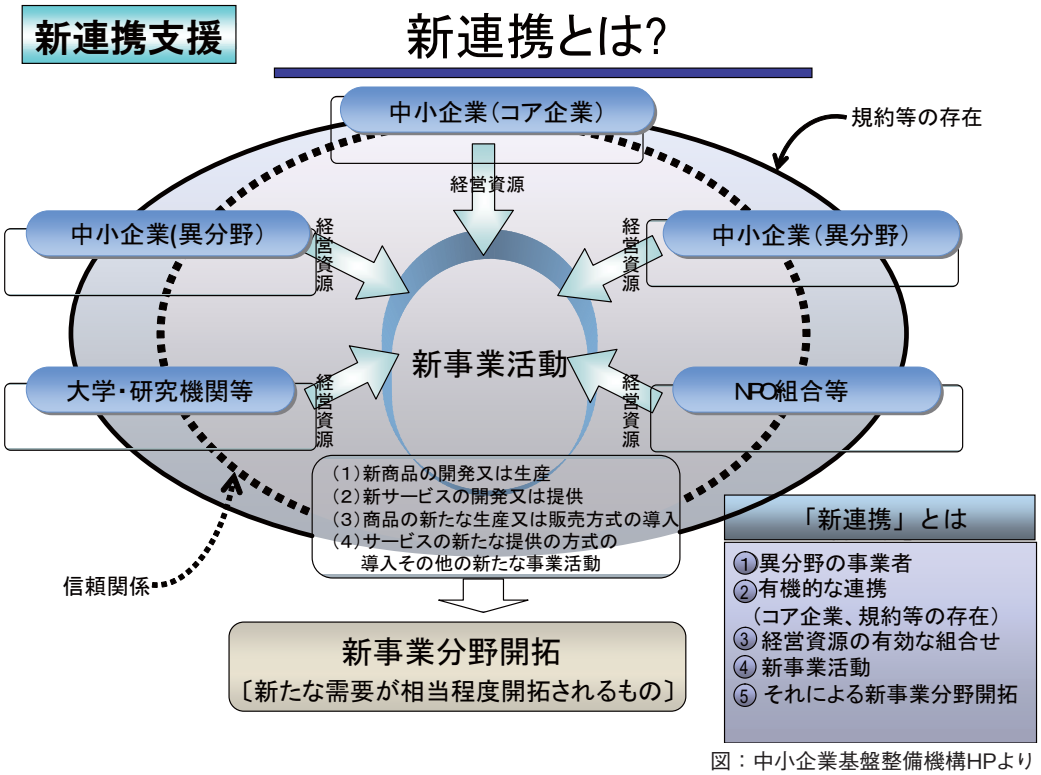
②連携により生み出される新商品等が相当程度の新たな市場（需要）を有するものであること。

③連携グループ内に対外的な責任主体となりうる中核的企業が存在すること。

④工程管理・品質保持・責任分担等の内部ルールが存在すること。

なお、①の経営資源を組み合わせるにあたっては、複数の中小企業のほかに、中堅・大企業や国・地方の研究機関、大学、NPO等の多様な主体とも連携をしていくことが有効である。

いままでに蓄積したノウハウ・技術等の経営資源を持ち合い、それらが融合し、新しい事業活動を行うことで、新たな販路の開拓を行うグループ化が期待されている。




図：中小企業基盤整備機構HPより

## 表紙写真

浜坂ひょうたん民芸館（人物　谷元卯之助氏）

「浜坂ひょうたん民芸館」では、例年ヒョウタンを素材に、干支の置物づくりが行われている。

〇九年の干支は丑。同館館長の谷元氏の手によって、ヒョウタンの形を活かした可愛らしい牛が次々と作りだされていく。

縁起物として人気もあり、作品は同館で展示販売されている。